

麻 酔 科

【一般目標】（全員必須）

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、周術期を担当する医師の責任感、職業的な技能、思考法、態度を学ぶ。
- 2) 周術期の全身管理と麻酔科関連領域の診療の実際に触れることで周術期医療の実際を学ぶ。
- 3) 常に患者の安全と質の高い医療を行うために、医師として努力し続けることを学ぶ。
- 4) 医学生として必要な麻酔管理の知識と技術を習得する。

【到達目標】

○ 麻酔実習（全員必須）

- 1) 手術患者の全身状態の評価方法を知る。
 - (1) 術前検査値の評価ができるようになる。
 - (2) 合併基礎疾患の周術期コントロールの意義が説明できるようになる。
- 2) 症例に応じた適切な麻酔法を説明できる。
- 3) 麻酔方法と麻酔管理上必須のモニター、検査、対処法が説明できる。
- 4) 症例の概要を適切な説明で提示できる。
- 5) 気道確保と人工呼吸が実際に行える。
- 6) 血液ガス分析、電解質、凝固検査などの検査を行い、その結果を解釈できる。

○ 疼痛治療実習（全員必須）

- 1) 術後疼痛管理の実際に触れ、その意義が説明できる。
- 2) 神経ブロック等のペインクリニック治療について説明できる。
- 3) 緩和ケアの基本について説明できる。

○ 外科系集中治療室実習（全員必須）

- 1) SICU での周術期の全身管理について説明できる。

○ 関連病院での実習（全員必須）

- 1) 一般病院での麻酔科関連業務に触れ、その概要を説明できる。

週間スケジュール

下記の通り。なお学生数により個別スケジュールは調整する。

大学病院実習では毎朝、手術部カンファレンスルームに集合すること。

第1週 月～金 毎朝 7:30～ 術前カンファレンス/周術期管理

第2週 月～金 第1週と同じ

金 午後 個別に実習実績の報告（カンファレンス）

※関連病院での実習は第1・2週で適宜調整する

※この実習を2回選択する場合（通算4週間）は、3-4週目には終日手術室実習とする。

【注意事項】

- 1) 医師としてふさわしい身だしなみをする。
- 2) 無断での欠席、遅刻、早退は厳禁。

- 3) 手術室内では清潔・不潔の区別に特に注意し、実習指導医の指示を守ること.
- 4) 手術室内では不用意な言動を慎むなど、言動に注意すること.
- 5) 学生用 PHS は一人一人に持たせるので朝の来院時に受け取り、帰宅時に返却すること

【実習の内容】

- 1) 初日の午前中にオリエンテーションを行う.
- 2) ポートフォリオは毎日記載し、実習最終日にコピーを提出すること.
- 3) 患者個人が特定できる医療情報は決して USB メモリーなど記憶媒体に保存しないこと.
- 4) 実習症例に関しては金曜午後の総括で発表できるよう準備しておくこと.

【評価】

到達目標（11 項目）が実習中にどの程度達成されたかを以下の評価項目にて評価する.

評 価 項 目	配点
出席点	40
大学指導医・派遣実習先病院の指導医による学生の行動内容の評価	40
ポートフォリオ評価点	10
最終日の総括	10

【参考図書, 文献】

- 1) 標準麻酔科学 第6版 医学書院

【担当教官】

堤保夫, 濱田 宏, 仁井内浩, 佐伯 昇, 大下恭子, 安田季道, ほか

【予定派遣先病院】

呉医療センター・広島市立安佐市民病院・JA 広島総合病院

【連絡先】

麻酔科 PHS（内線）2019・麻酔蘇生学医局 082-257-5267・麻酔管理室 082-257-5533
E-mail: masuika@hiroshima-u.ac.jp